

令和5年度伊勢崎市教育研究所

## ユニバーサルデザイン研究班だより

第1号 令和5年6月9日(金)



研究テーマ

### 自分から取り組める学びのユニバーサルデザイン

～ 教師の支援(人・モノ・言葉がけ)に着目して～

#### 1 研究のねらい

今年度のユニバーサルデザイン研究班では、目指す子供像を「自ら取り組むことのできる子供」とした。一日の大半を過ごす園や学校は、子供たちにとって居心地の良い場所でなければならない。そこで、困難を抱えている子もそうでない子もみんなが安心できる環境のもと、自ら意欲的に活動に取り組む姿を目指し、自立へとつなげていきたい。そこで、今年度は「教師の支援」に着目してアプローチしていく。

教師の支援とは、

- ① 教師自身が活動のモデルとなる「人」としての支援
- ② 教材教具、学習環境などの環境のユニバーサルデザインと子供を取り巻く人間関係の人的環境のユニバーサルデザインを含めた「モノ」としての支援
- ③ 子供の心が動くような「言葉がけ」の支援

の3つに定義した。この3つに焦点を当てて、研究と実践を行いながら幼小中学校のどの校種でも共通に取り入れられるものや、それぞれの校種に合ったアプローチの仕方の違いなどを整理していきたい。また、過去のユニバーサルデザイン班の研究も実践しながら、アフターコロナとなった今、残していくものとそうでないものの見直しも図っていかねばならないと考えている。

このような考えを基に、以下の2点を今年度の主な研究内容として設定した。

#### 2 研究の主な内容

- (1) 教師の支援(人・モノ言葉がけ)に着目した研究と実践
  - ・ユニバーサルデザインの基礎研究
  - ・幼児、児童、生徒の特性とつまづきや困難さの的確な把握
- (2) 子供たちが自ら取り組むことのできる園、学校生活の実践
  - ・実践内容と発信

